

周産期医療協議会・妊産婦メンタルケア部会
令和6年度事業実施結果及び令和7年度事業計画（案）

1 令和6年度事業実施結果

（1）妊産婦メンタルケア部会の開催

○開催 令和7年1月16日（木） Zoom

○内容 （1）小児科受診時チェック票（母親用）改訂後の活用状況に関するアンケート結果について・・・資料①

（2）産婦健康診査（産後2週間・1か月）開始によるガイドライン及び産後アンケートの取扱いについて

（3）妊産婦のメンタルケア支援協力医療機関リストの更新について

（2）妊産婦メンタルケア対策-早期発見と支援のポイント-の改訂・送付

- ・【別冊】妊産婦のメンタルケア支援協力医療機関リストの更新
- ・令和6年1月からの産婦健診開始によるガイドライン及び産後アンケートの取扱いについて検討

→ガイドラインの改定については、引き続き検討

【別冊】について、令和7年3月末に精神科・産科・小児科・市町村等へ送付予定
・・・資料②

2 令和7年度事業実施計画（案）について

（1）妊産婦メンタルケア部会の開催

開催回数：年1～2回程度

【課題】

- ・産婦検診時に実施のエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）の結果集約方法と県内の妊産婦メンタルケアに関する現状・課題の把握
- ・ガイドライン活用による関係機関の連携強化
- ・眠剤等内服時の添い寝の危険性、注意点等についての周知

【取組】

- 1）妊産婦のメンタルケアに関する情報共有、地域における連携体制の整備
 - ・部会の開催
- 2）「妊産婦メンタルケア対策-早期発見と支援のポイント-」及び「妊産婦の受診受入れにかかる精神科医療機関リスト」の周知、活用について
 - ・ガイドラインについて、活用方法を含めた周知・啓発を行う
- 3）関係者資質向上対策及び関係機関との連携推進
 - ・妊産婦へのメンタルケアに関する啓発の継続

I 「小児科受診時チェック票（母親用）」改定後の活用状況に関するアンケート調査の概要について

1 調査の目的

令和5年3月に改定した「徳島県妊産婦メンタルケア対策－早期発見と支援のポイント」ガイドラインに掲載の「小児科受診時チェック票（母親用）」について、改定後の活用状況を確認し、関係機関間での連携状況等における課題を確認することを目的に実施。

2 調査の対象

・県内小児科医療機関 111か所

3 調査の内容及び方法

・別添調査票を送付し、メールまたはFAXにて回答いただいた

4 回答数

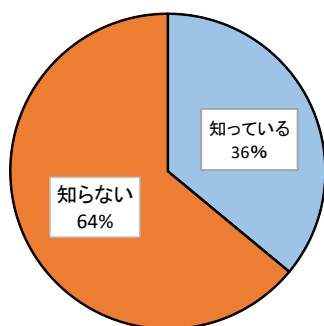
送付数：小児科医療機関 111か所 回答数：小児科医療機関 51か所

II アンケート集計結果

【質問1】小児科受診時チェック票（母親用）を知っていますか。

R3年10月時点

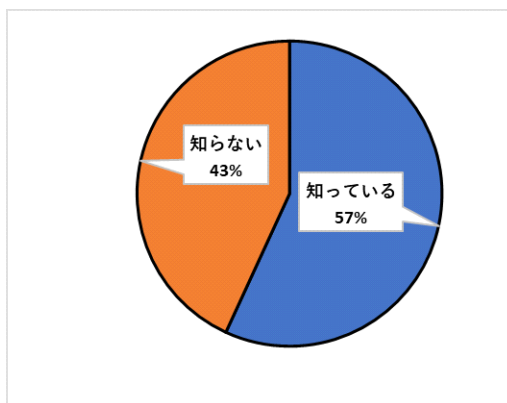
n=25



	医療機関数	回答数	知っている	知らない
	111	25	9 (36%)	16 (64%)

R6年11月時点

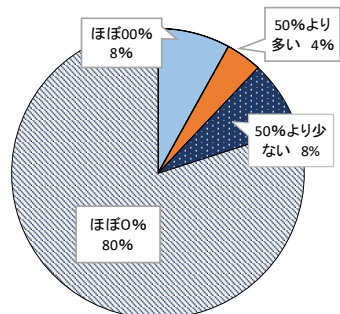
n=51



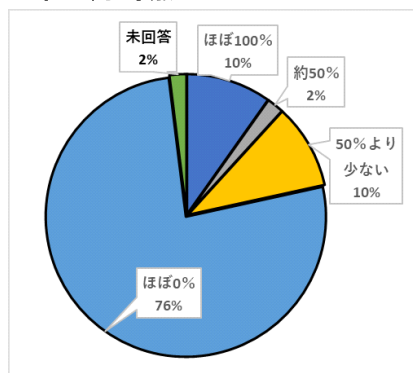
	医療機関数	回答数	知っている	知らない
	103	51	29 (57%)	22 (43%)

【質問2】小児科受診時チェック票（母親用）の実施割合（概数）。

R3年10月時点

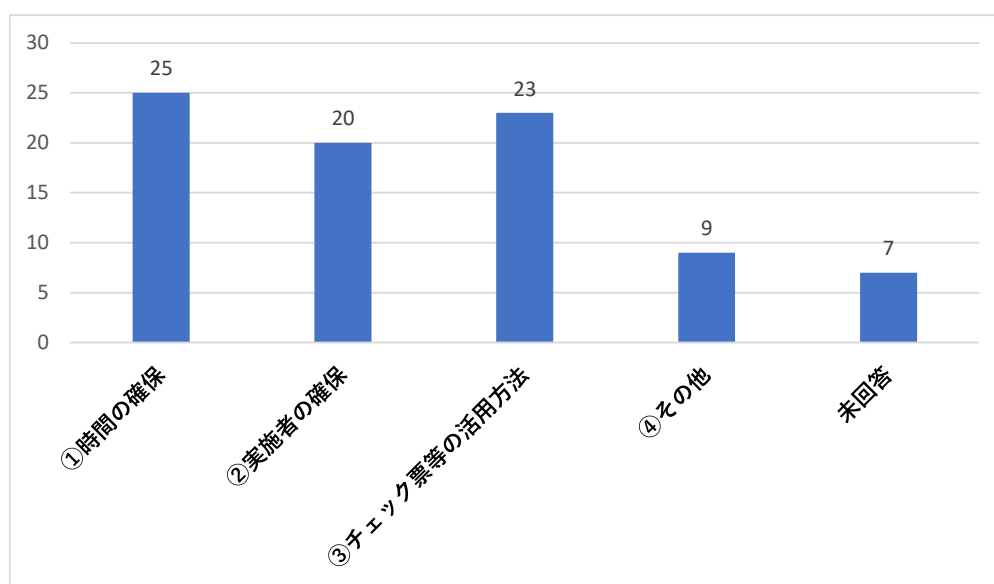


R6年11月時点



	医療機関数	回答数	ほぼ100%	50%より多い	約50%	50%より少ない	ほぼ0%	未回答	該当無し
R3年10月	111	25	2 (8%)	1 (4%)	0	2 (8%)	20 (80%)	0	0
R6年11月	103	51	5 (10%)	0	1 (2%)	5 (10%)	39 (76%)	1 (2%)	0

【質問3】実施において課題となる条件すべてに○をして下さい。
※複数回答可



その他：

- ・「エジンバラ産後うつ病質問票」と「赤ちゃんへの気持ち質問票」を代用している。
- ・チェック票では母親が本当の事を書いてくれない。
- ・母親(本人)に確認できていないケースがある。
- ・2か月以降の対応が課題
- ・当医院は1か月検診で終診のため
- ・当院の問診票によく似た質問項目があるためそれで代用してます。
- ・該当患者なし、・受診する乳児の母が少ない

【質問4】支援の継続が必要なケースを把握し、市町村等関係機関と連携したケースはありますか。

R3年：あると回答した小児科 2件／25件中

R6年：あると回答した小児科 7件／51件中

連携にかかりガイドライン掲載の様式③を活用しましたか。

→活用した医療機関はなかった

(理由) 妊娠中から連絡をとっていたため
 保健所もすでに把握していたため

【質問5】今後チェック票を活用いただくにあたり質問4の課題も含めどのような点を改善すればよいですか。

- ・他病院で患児を出産した褥婦さん、具体的には当院新生児搬送されたり、あるいは生後1か月以降に当院を紹介した児の母親に対しては活用できるかもしれない。
- ・当院は、1か月健診は行っていますが、予防接種は行っていないので、チェックを行う機会は、極めて少ないです。1か月健診でのチェックは、助産師さんが行ってくさっていると思います。
- ・ポスター
- ・初診で心を開いてくれる事は少ない。
- ・診療の簡便化、待ち時間の短縮に役に立つのであればいいです。
- ・勉強会(Webをふくめて)してもらいたい。現状も含めて。
- ・該当患者なしの為、不明
- ・ひまわりっこ手帳と一緒にいただければと思います。
- ・趣旨はよく理解し協力したいと思いますが具体的なシステムがよくわかってなくて実施しにくい。

【質問6】小児科受診時チェック票（母親用）や様式、マニュアルについて、ご意見があればご記入ください。

- ・ 2 週間健診時に、EPDS や MIBS のアンケートを実施しています。最近 1 年間では回収率が 97%です。助産師がヒアリングして 1 人につき 30 分程度かけて行います。その結果を 1 か月健診時に EPDS 高得点の人に小児科医がカウンセリングしていきます。継続事例には育児支援外来につなげていきます。更に保健師との連携が必要な場合、月に 1 回の事例検討会で情報交換します。
- ・ 生後 2 ヶ月の初めての予防接種時、全員にチェック票を渡し記入してもらっています。当院では、現在までに問題になるケースはありませんでした。今後も継続していくことは大切なことだと考えています。
- ・ 市の 3 か月健診で実施しているので当院ではしていません。
- ・ 不勉強で存じませんでした。表情のすぐれないお母さんが居たら使ってみようと思います。
- ・ チェックを行っていないので、特に意見はありません。気になる母親がいれば、介入を心掛けるようにしたいと思います。
- ・ 予防接種外来時はスタッフの業務も多く多数の患児の対応を要するため、チェック票の記載や同意を得るための問診を行うのは時間的にも人手的にも不可能です。
- ・ SNS 等で母親が支援について知ったり、直接アクセスしやすいシステムがあってもよいと思います。

Ⅲ 課題及び今後の対応（案）

（１）ガイドラインの周知啓発

- ・ 小児科医療機関への周知

（２）普及啓発

- ・ 妊産婦へのメンタルケアに関する啓発の継続